

2019 年 9 月 9 日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報の取りまとめは以下のとおり。

1 大統領選決選投票

(1) 決選投票の実施

8月11日、アレハンドロ・ジャマテイ候補（VAMOS, 右派）とサンドラ・トーレス候補（UNE, 中道左派）の大統領選決選投票が実施され、投票から集計まで大きな混乱なく終了した。ソリス米州機構（OAS）選挙監視団代表（元コスタリカ大統領）も「グアテマラは民主主義および市民精神を体現した。一部地域で混乱はあったが、すぐに対処され投票が問題なく続けられた」と述べた。

(2) 決選投票の結果

8月22日、最高選挙裁判所（TSE）は「8月11日の大統領選決選投票の結果を有効なものとし、バモス（VAMOS, 右派）党から立候補したアレハンドロ・ジャマテイ氏が次期大統領、ギジェルモ・カスティージョ氏が次期副大統領となることが正式に確定した」と発表した（就任は2020年1月）。

決選投票におけるジャマテイ候補およびトーレス候補の最終的な得票数(率)は以下のとおり。

- ・アレハンドロ・ジャマテイ（VAMOS）----- 1,907,767票（57.95%）
- ・サンドラ・トーレス（UNE）----- 1,291,811票（42.05%）

(3) 決選投票に関する当地主要紙の評価

(ア) 高い棄権率

決選投票は大きな混乱なく終了したものの、投票を棄権（abstencionismo）する有権者が多かったことが特徴的である。TSEによると（暫定的）投票率は42%前後であることから、（暫定的）棄権率は58%前後に上り、決選投票の2名の候補に対する有権者の無関心が反映されたと言える。

(イ) ジャマテイ候補の得票率の増加

TSEによる暫定結果によると、ジャマテイ候補の得票率が過半数に達したのは14/22県であり、第一回投票よりも支持拡大に成功した。首都があるグアテマラ県では同候補の得票率が69%に達した。

(ウ) トーレス候補の得票率の伸び悩み

他方、トーレス候補は、UNEの歴史的な支持基盤であるキチェ県（暫定得票率61%前後）、エスクイントラ県（54%前後）およびアルタ・ベラパス県（62%前後）で高い得票率を維持したものの、それ以外の県ではジャマテイ候補に大敗、または過半数を獲得したとしてもジャマテイ候補に大差をつけることができなかった。

(4) 次期大統領および次期副大統領について

写真	氏名	経歴など
	アレハンドロ・エドゥアルド・ ジャマテイ・ファジャ (63 歳) (Alejandro Eduardo Giammattei Falla)	<ul style="list-style-type: none"> 国立サンカルロス大学卒業 (医学部 外科) 医師 元刑務所主管庁長官 過去 3 回 (2007, 2011, 2015 年) にわたり大統領選に出馬し、本年 4 度目の出馬で当選。
	セサル・ギジェルモ・ カスティージョ・レジェス (53 歳) (César Guillermo Castillo Reyes)	<ul style="list-style-type: none"> 国立サンカルロス大学卒業 (法学部) ラファエル・ランディバル大学修士 (専攻は人権) 元職業訓練庁 (INTECAP) 長官 前商業会議所専務理事

(5) ジャマテイ次期政権の政策概要

ジャマテイ次期大統領が策定した「イノベーションと開発のための国家計画 (Plan Nacional de Innovación y Desarrollo)」は、①経済、②社会開発、③統治と安全保障、④透明性、⑤外交という5つの重点政策を掲げている。

①経済では、輸出、中小企業の強化および観光を重視する。

②社会開発では、教育・保健・栄養・居住の改善による国民の生活レベルを向上させ、貧困サイクル解決のための条件付き補助金給付等を実施予定。

③統治と安全保障では、国家文民警察 (PNC)・軍の能力強化、関連設備の近代化等を計画している。

④透明性では、汚職対策として国家機関の強化、地方分権、市との連携強化等に取り組む。

⑤外交では、台湾との外交関係を維持した上で、中国との経済関係強化を模索。また、移民問題については、米国およびメキシコに領事館を増設し、グアテマラ人移民支援策を強化する。

2 内政

(1) モラレス大統領の息子および兄に対する無罪判決

8月19日、刑事裁判所 (Tribunal Decimo Tercero Penal) は、2013年の財産登記所の公金着服を目的とした偽造契約事件 (caso Botin en el Registro de la Propiedad) に関し、モラレス大統領の息子ホセ・モラレス氏と兄サムエル・モラレス氏を無罪とする判決を下した (2017年1月、検察庁は同2名が事件に関与したとして逮捕し、「詐欺」および「資金洗浄」の疑いで起訴して以来、同2名の裁判が続けられていた)。

同裁判所裁判官は判決にて、「2013年、財産登記所における公金着服を目的とした偽造契約は確かに存在したが、ホセ・モラレス氏およびサムエル・モラレス氏の両者が同事件に積極的に関与する意図はなかった。また、両者が同事件で直接的な経済的利益を得たという証拠も確認

されていない」と述べた。

サムエル・モラレス氏は「我々は、常に司法手続きを尊重してきた。検察庁は判決に不服として上訴するだろうが、今回の判決を十分に評価すべきである」と述べた。検察庁関係者は、今回の判決を分析するとだけ述べた。

モラレス大統領およびパトリア大統領夫人は「長い間、息子と兄が裁判に付されていたが、当初表明したように、我々はグアテマラの司法制度を信頼してきた。我々は、法の適正手続き、法の支配、グアテマラ司法制度の客観性を常に尊重してきた。有罪判決がない限り、いかなる者も罪には問われない」との声明を発表した。

(2) ジャマテイ次期大統領とモラレス現大統領の会談

8月14日、モラレス現大統領およびアレハンドロ・ジャマテイ次期大統領は会談を実施し、政権移行等様々なテーマについて協議した。カブレラ現副大統領およびギジェルモ・カスティージョ次期副大統領が同席した。

モラレス現大統領は「会談は極めて生産的であった。例えば、移民の安全保障および移民の雇用機会拡大に関する米国との成果等、様々なテーマについて協議した」と述べた。

ジャマテイ次期大統領は「モラレス現大統領は平和的で開かれた政権移行を約束した。2020年度国家予算に関し、次期政権が適切な予算を確保した上で政権運営を開始することが重要である」と述べた。

また、同次期大統領は、移民に関する「安全な第三国」合意に対する当初の批判を弱め、「グアテマラと米国は移民の保護申請に関する合意に署名したが、同合意を「安全な第三国」と呼ぶべきではない。自分（同次期大統領）の移民問題に関する専門チームは、今後、同合意原文および付属書の分析を開始し、モラレス現政権と米国政府関係者の会合にも同席する予定である」と述べた。

(3) ジャマテイ次期大統領のワシントン訪問

8月21日、米ワシントンの訪問を終えたジャマテイ次期大統領は記者会見を実施し、会談内容や米国への提案事項等を発表した。今回の訪問には、ペドロ・ブロロ次期外相（候補）が同行した。同次期大統領によると、今回の訪問では、マカリーナン米国土安全保障長官代行、ポンペオ米國務長官の補佐官、米州開発銀行（BID）役員等との会談が実施された。

同次期大統領は「マカリーナン米国土安全保障長官代行との会談では、グアテマラと米国の移民関連合意（「安全な第三国」合意）について協議したが、多くの情報が不足しており、合意内容も未だ不明確であり、実施のための具体的見通しもない。これらの点を明確にするよう、米国に要請した。モラレス現政権と米政府の今後の交渉には、我々グアテマラ次期政権関係者も出席することが不可欠である。米国からもこの点についてモラレス現大統領に要請している。

同合意は「安全な第三国」合意と呼称されているが、適切ではなく、受け入れられない。というのも、同合意はホンジュラスとエルサルバドル人のみを排他的に対象としているため、いわゆる「安全な第三国」の枠組み・定義に合致しないからである」と述べた。

また、同次期大統領は「米ワシントンに外務次官府を新設し、移民対応を専門に行う予定である。これは大きな変化をもたらさだろう。在米グアテマラ人コミュニティに対し、よりきめ細かな外交的・領事的サービスが可能となる」と述べた。

また、同次期大統領は「B I Dとの会談で提案したものの一つに、メキシコ国境付近（サン・マルコス県やウエウエテナンゴ県等）の開発プログラムを通じた雇用創出がある。同プログラムに関する計画を準備しており、今後メキシコ政府に提案し、共に取り組みを進めていくつもりだ」と述べた。

また、同次期大統領は「グアテマラから米国へアボカド、ベリー類、肉、繊維製品の輸出を新規で開始、または増加させるための新たな経済協定を模索しており、今回の訪問でも米国に提案した」と述べた。

（４）ポラス検事総長による検察庁新体制の発表

８月２９日、ポラス検事総長は検察庁にて、検察庁無処罰問題対策専門局（F E C I）の新体制および検察庁による汚職・無処罰問題への取り組みについて発表を行った。検察庁と共に汚職問題に取り組んできたグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（C I C I G）は９月３日にマンドート（設置期限）が終了するため、９月４日からF E C Iは新たな体制となり、汚職・無処罰問題への対処を継続する。

同検事総長は「これまでと同様、検察庁は、汚職・無処罰問題に関与する政府関係者・個人・犯罪組織の刑事訴追に取り組む。汚職は、当国の社会の発展および国民の福祉に悪影響を及ぼしている」と述べた。

今回の発表に出席したアルベルト・コルテソン当地E U代表部国際協力部長は「主要ドナー国・国際機関から成る当国支援主要国グループのG 1 3は、人材面および資金面でC I C I Gを支援してきた。C I C I Gは検察庁と共に当国汚職問題に取り組み、大きな成果を上げた。汚職・無処罰問題に対処するというグアテマラ政府の強い信念がある限り、G 1 3は今後も当国汚職問題との闘いを支持する」と述べた。

C I C I Gが当国での活動を終了することに伴い、C I C I Gが行っていた汚職疑惑に関する11件の調査がF E C Iに引き継がれた。

3 外交

(1) テキサス州およびオハイオ州の銃乱射事件に関する弔意表明：外務省プレスリリース
「グアテマラ政府は、8月3日および4日に米国テキサス州エル・パソおよびオハイオ州デイトンで発生した暴力事件に関し、米国およびメキシコの国民および政府に対し連帯の意を表明する。

グアテマラは、ヘイトクライム (manifestacion de odio) および平和的な生活・生命の尊重に反するいかなる行為を拒絶する。

グアテマラ政府は、犠牲者の家族に対し哀悼の意を表し、被害からの早期回復を願う。」

(2) サイモン・マクドナルド英国外務次官の当国訪問

8月29日、サイモン・マクドナルド (Simon McDonald) 英国外務次官 (Permanent Under Secretary and Head of the Diplomatic Service) は当国を訪問し、カランサ・グアテマラ外務次官 (二国間・多国間問題担当) と会談した。主なテーマは、グアテマラ総選挙の結果と政権移行プロセス、国際司法裁判所 (ICJ) に付託されたグアテマラ・ベリーズの国境問題の進捗、7月に署名された中米・英国の連携協定および英国政府による奨学金制度であった。

同英国外務次官は会見にて「現状では、中米 (グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ) ・EUの連携協定が発効しているが、今後ブレグジットが成立した後は、7月に署名された中米・英国の連携協定によって中米と英国の貿易関係が維持される。なお、グアテマラ政府によると、中米・英国の連携協定は9月13日にグアテマラ国会へ送られ、承認が得られる予定である」と述べた。

4 移民情勢

(1) マカリーナン米国土安全保障長官代行の当国訪問

7月31日、マカリーナン米国土安全保障長官代行は当国を訪問し、アレアガ当地米大使公邸にて、学者、企業家、大統領候補者等と「安全な第三国」合意に関する会合を行った。始めに学者、企業家等と会合を開き、出席者たちは、グアテマラには他国の移民を保護する能力が欠如しており、「安全な第三国」合意を実施すれば、米国へ向かう不法移民は減少するどころか増加するだろうと訴えた。その後、同米国土安全保障長官代行は、大統領選決選投票に進んだアレハンドロ・ジャマテイ候補およびサンドラ・トーレス候補との会合を別々の時間帯で実施し、同2名の候補者は「本会合は貴重な機会歓迎するが、「安全な第三国」合意に関するより詳細な情報を提供してほしい」と述べた。

8月1日、マカリーナン米国土安全保障長官代行とモラレス大統領は、国立文化宮殿にて会談を行った。ホベル外相、デゲンハルト内相およびアギレラ労働社会保障大臣が同席した。同外相は「会談は極めて前向きで生産的であった。7月26日に米国と署名した「保護申請の調査に関する協力合意」 (Acuerdo de Cooperacion Respecto al Examen de Solicitudes de Proteccion。米国は「安全な第三国」合意と呼んでいる) および30日に署名した「臨時農業労働者に関する合意」 (Acuerdo de Trabajo Temporal Agricola) の実施方法が協議された」と述べた。

同米国土安全保障長官代行は、モラレス大統領との会談後に会見を開き「米国にとってグアテマラはパートナーであり、両国は合意の実施を目指している。移民は中米地域の問題・責任として広くとらえられるべきであり、米国はグアテマラに加え、メキシコ、エルサルバドルおよびホ

ンジュラスとも様々な合意を結んできた。米国はグアテマラとの合意を実施するため、米国の資金を拠出しようと考えている。また、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国際移住機関（IOM）等の国際機関にも経済的支援を求めている」と述べた。

（2）クラバーカローネ米国家安全保障会議（NSC）西半球局担当上級部長の当国訪問

8月19日、マウリシオ・クラバーカローネ（Mauricio Claver-Carone）米国家安全保障会議（NSC）西半球局担当上級部長（Senior Director for Western Hemisphere Affairs）は当地を訪問し、モラレス大統領と会談を行い、グアテマラと米国の「安全な第三国」合意およびH-2Aビザを通じた「臨時農業労働者プログラム」合意について協議した。会談には、デゲンハルト内相、ホベル外相、バジャダレス経済大臣、アギレラ労働社会保障大臣およびメンデス農牧食糧大臣が同席した。

会談では、「安全な第三国」合意の法的側面についても協議され、7月に同大統領が憲法裁判所に提出した取り消し請求に対し、同裁判所は回答を下す予定であり、その回答次第で同合意がグアテマラ国会の承認を必要とするか否かが決定される。

その後、同NSC西半球局担当上級部長は、アストウリアス国家競争力委員会（PRONACOM）委員長、テフェル経団連（CACIF）会頭、フェリペ・アントニオ・ボッシュ・グティレスFUNDESA（当国の貧困撲滅を目的として教育や保健分野の支援を行う民間団体・シンクタンク）代表等と会談を実施した。同NSC西半球局担当上級部長は、中米不法移民問題を解決する上での移民関連合意の重要性を説明した。

5 経済

（1）総選挙後における格付け会社「ムーディーズ」による評価

8月14日、格付け会社「ムーディーズ」は、グアテマラの信用格付けをこれまでと変わらない「Ba1（安定的）」とする報告書を発表した。

しかし、国家機関の脆弱性の改善はジャマテイ次期政権の主要課題であると警告した。同報告書では、これまでグアテマラの汚職・無処罰問題に取り組んできたグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）のマンデート（設置期限）が9月で満了するため、法治主義、政府の効率性および汚職対策における脆弱性が指摘されている。

また、経済に関し、国民の4分の1が貧困状態で、国民の約70%がインフォーマル・セクター（非公認の路上販売等）に属することから、今後の経済発展にも課題があるとしている。

（2）総選挙後における格付け会社「フィッチ・レーティング」による評価

総選挙後、格付け会社「フィッチ・レーティング」は、グアテマラの信用格付けを発表し、これまでのBB（ネガティブ）を維持した。

同社は、BB（ネガティブ）維持の主な理由として、内政における不確実性および低い税収を挙げた。また、同社は、次期政権になっても、ジャマテイ次期大統領の政党バモス（VAMOS, 右派）は次期国会で17議席のみで、同次期大統領は国会において限定的な影響力しか持たず、次期国会も多くの政党が議席を保持するバラバラな状態であることを指摘している。

6 治安・社会

(1) 性犯罪における裁判プロセスの遅延

検察庁が8月に発表した報告書によると、当国において2018年になされた女性に対する性犯罪の告発は13,559件であったが、そのうち本年8月時点で裁判所の判決が下されたのは約8%（1,074件）のみであった。

女性の権利に関する捜査を担当するシルビア・トルヒジョ検察庁捜査官によると、検察庁に告発がなされても捜査が効率的に進まないケースが多くあり、未解決の事件が溜まっている。同捜査官によると、このような遅延の原因は、検察庁の捜査員および裁判所の裁判官が不足していることであり、とりわけ地方において大きな問題となっている。

性犯罪に関する裁判手続きが終了するまでは400日かかるとも言われ、被害者が告発自体をあきらめるといった問題も生じている。

(2) 2019年上半期における殺人および恐喝件数

当国シンクタンク「CIEN」が8月に発表した報告書によると、1月～7月における10万人あたりの殺人発生率は21.7人で、前年同期の21.8人とほとんど同じであった。ただし、首都グアテマラ・シティが位置するグアテマラ県（前年同期に比べ11%増）および隣接するエスクイントラ県（22%増）では、これまでと同じように殺人事件が集中・増加している。

同報告書によると、1月～7月において国家文民警察（PNC）に通報された恐喝件数は7,586件で、前年同期に比べ2,611件増加した。

◇主要経済指標◇	2019年			2018年	2017年
	8月	7月	6月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	4.37%	4.80%	2.31%	5.68%
貿易収支（百万ドル）	未発表	未発表	△553.2	△8,743.8	△7,407.7
輸出（百万ドル）	未発表	未発表	971.6	10,990.2	10,982.0
輸入（百万ドル）	未発表	未発表	1,524.8	19,734.0	18,389.7
外貨準備高（百万ドル）	未発表	14,386.4	14,279.8	12,755.6	11,769.5
外国からの送金（百万ドル）	未発表	947.8	882.0	9,287.7	8192.2
為替レート（対ドル月平均）	未発表	7.67	7.70	7.52	7.35

（出典：中銀，国立統計院） 注）本年より前の年の為替レートは年平均